

ほけんだより 10月

特別号



9月26日（金）6校時、「命の講話」を全校で聞きました。
講師をしていただいたのは、利根中央病院 助産師の菊池さんと石井さんです。「命の講話」の内容は、命の大切さと妊婦体験でした。

○いのちの誕生



○胎児の心音



妊娠6週の赤ちゃんの心拍を聴きました。
自分の脈拍を自分ではかってみると…

圧倒的に、胎児の心拍の方がとても速く驚いていました。

○妊婦中のお母さんと誕生したときの赤ちゃんの気持ち

★妊婦のお母さんの気持ち

- ・元気に成長しているかな
- ・早く会いたいなあ
- ・名前はなににしよう
- ・愛おしい
- ・幸せ
- ・かわいい



★生まれたばかりの赤ちゃん

- ・息を吸うぞ
- ・心臓を動かすぞ
- ・手足を動かすぞ
- ・おっぱいを飲むぞ

赤ちゃんは、生まれてからすぐに「生きる力をもっている」！



赤ちゃんが生まれるまで、いろいろな人が関わったり支えたりして大きく成長し生まれてきます。

ひとは、お腹に宿ったときから
一人ではない
誰かの思いを受け継いでいる
↓
与えられた命を大切に生きてください



○周期の違う赤ちゃんの重さを体験



○妊婦体験

妊婦さんの気持を体験してもらいました。

<感想>

体が思うように動かせなくて大変でした。
3年 渡部 瑛太くん



赤ちゃんは、4回
周りながら生まれてきます。

今日は、お忙しい中、私たちのために、お話をしてくださいありがとうございました。今日の話を聴いて、毎日明るく元気に過ごしていきたいと思います。

生徒会代表 2年 星野文汰くんが、謝辞を言ってくれました。



～生徒の感想～



今回の講演会での感想は、生命の誕生の仕方などがよくわかりました。お腹にいる10ヶ月の赤ちゃんは思っていた以上に重かったです。これからは、命の大切さについても考えていきたいです。

今日の話を聞いて、子どもを産むことは大変なんだと改めて感じました。自分は、男子なのであまり気持ちがわからないけど、子どもができたときは、寄り添ってあげたいと思いました。

今日の講演会を聞いて、自分たちが生まれてきたことは、運命なんだなと思いました。これからは、より一層自分や他の人の命を大切にていきたいです。

命がどれだけ大切か、自分が生まれてきた奇跡、いろいろなことを知ることができました。そして、私は今日の講演会を聞いて、今まで以上に自分を大切にして生きていきたいです。

今回の講演会を通して、命の大切さ・尊さに気づくことができました。自分が今、元気よくすごせているのは、周りの人の支えのおかげなので感謝の心を忘れずにすごしていきたいです。

今日の講演を聞いて、命の大切さに改めて気づきました。卵管で精子に出会うのも、とても確率が低いのに、出会えても30%の確率でしか受精できないのを聞いて、改めて自分を大切にしたいと思いました。

私は、この講演会を聴く前は、あたりまえに毎日を過ごしていたけど、このお話を聞いて、私たちは「奇跡」で生まれきたことを実感しました。10ヶ月経つと赤ちゃんは重くなるので、妊婦の人はとてもすごいなと思いました。

命の大切さを知って、産んでくれたお母さんに感謝を伝えたい。生きることの大切さを教えてくれてありがとうございます。

大事に育ててくれた家族への感謝を感じることができました。家族のみんなが、大変な思いをしながらも育ててくれたことに改めて、感謝の気持ちをもつことができました。

命が誕生するまでに、色々な人が関わっていて、とても尊いものだと思いました。関わっている人や親に感謝をして命を大切にしてほしいです。今日、教えていただいたことを忘れないようにしたいです。

話を聞いて、命というものは大切で命が誕生することは奇跡だということを学びました。また、赤ちゃんの成長の仕方を知ることができよかったです。これからも、自分の命を大切にしていこうと思いました。

生まれてくることの難しさや命の大切さを知ることができました。これからは、親に感謝して、自分の命を大切にして生きていこうと思います。

自分や自分以外の人の命についての大切さを知ることができた。これからは、人間に一つしかない命を大切にして過ごしていきたいです。